

平成 30 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 初 穂 商 事 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 齋 藤 悟  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 7 4 2 5 )

問 合 せ 先

役 職 ・ 氏 名 経 営 管 理 室 長 成 田 哲 人  
電 話 052 - 222 - 1066 (代表)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### ●業績予想の修正について

平成30年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,000	159	190	119	145.33
今回修正予想(B)	8,906	91	128	76	93.48
増減額(B-A)	△93	△67	△61	△42	
増減率(%)	△1.0	△42.2	△32.2	△35.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	8,582	151	183	107	131.25

#### 修正の理由

当第2四半期累計期間につきましては、鋼材価格が高水準で推移した影響により、仕入価格の値上がりが続いた結果、販売単価の上昇及び売上高の増加に寄与しました。しかし、一部販売先への値上対応の進展に遅れが生じており、利益率を圧迫する要因となりました。この結果、売上総利益率が前期第2四半期の17.3%から16.2%へと、1.1ポイント低下した影響により、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも前回発表予想を下回る見通しとなりました。

なお、通期業績予想につきましては、下半期の秋口以降から本格化する、首都圏での再開発事業や東京五輪関連工事に伴う建設需要の盛り上がりによる取引量の増加と、仕入価格の上昇分について、引き続き価格改定により販売価格への反映を計画していることから、現時点では当初予想からの変更はありません。今後の業績動向により修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上